

2023年度「心の輪を広げる障害者理解促進事業」

小中学生作文・ポスターの表彰式を開催します！

表彰式の概要

宮城県では、内閣府と共催により、障害の有無にかかわらず誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」を目指し、障害や障害のある人々に対する国民の理解と関心を深めること等を目的として、毎年、障害や障害のある人々に関わる「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を公募し、優秀作品を表彰しています。

本県においては、本年度、特に優れた作品として作文部門から中学生2名、小学生1名、ポスター部門から小学生2名を選定し、下記のとおり表彰式を開催します。

「障害のある人もない人も共生する社会」の実現に向けた取組の一環として、広く県民に情報発信したいと考えておりますので、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

記

- 日時** 令和5年12月27日（水曜日）午後3時00分から午後3時30分まで
- 場所** 宮城県庁行政庁舎9階北側 第一会議室
- 内容** 受賞者への保健福祉部長からの賞状及び副賞の贈呈並びに受賞作品の展示

受賞者の概要

【心の輪を広げる体験作文】募集テーマ：出会い、ふれあい、心の輪

—障害のある人とない人との心のふれあい体験を広げよう—

区分	受賞	学校名	学年	氏名/作品名
中学生	最優秀賞	大崎市立古川西小中学校	9年	菅原 怜美（すがわら れいみ）さん 作品名：「私と障害」
	優秀賞	大崎市立古川西小中学校	9年	大場 凜音（おおば りおん）さん 作品名：「本当の気持ち」
小学生	優秀賞	松島町立松島第一小学校	3年	林 龍志（はやし りゅうし）さん 作品名：「車イスのおじいちゃんと温泉にとまったこと」

【障害者週間のポスター】 募集テーマ：障害の有無にかかわらず誰もが能力を発揮して安全に
安心して生活できる社会の実現

区分	受賞	学校名	学年	氏名/作品名
小学生	最優秀賞	美里町立不動堂小学校	6年	新田 結以 (にった ゆい) さん 作品名：「さりげないやさしさで」 ※表彰式は欠席となります。
	優秀賞	松島町立松島第一小学校	5年	遠藤 真緒 (えんどう まお) さん 作品名：「全ての人に平等な社会を」

参考

・令和5年度宮城県応募状況 ※()内は昨年度

部門	心の輪を広げる体験作文					障害者週間ポスター		
	小学生	中学生	高校生	一般	合計	小学生	中学生	合計
応募総数	1 (0)	4 (8)	0 (0)	0 (0)	5 (8)	2 (1)	—	2 (1)
県入賞	最優秀	—	1 (1)	—	—	1 (0)	/	1 (0)
	優秀	1 (0)	1 (2)	—	—	2 (2)		1 (1)
	佳作	—	1 (5)	—	—	1 (5)		—

・共催者(内閣府)ホームページ

内閣府ホーム 内閣府の政策 政策調整トップ 障害者施策 もっと詳しく 障害者週間

<https://www8.cao.go.jp/shougai/kou-kei/index-kk.html#sakubun>

取材いただく際のお願い

表彰式取材いただける場合には、令和5年12月27日(水)正午までに、右上記載の担当課までご連絡ください。